

# セフトロダン 細粒小児用100

<換算表> 投与量は細粒としての量(g)を示す  $\div 3$   $\div 3$   $\div 3$

年齢目安 (才)	体重(kg)	セフトロダンとして 20mg(力価)/kg/日		セフトロダンとして 30mg(力価)/kg/日		セフトロダンとして 40mg(力価)/kg/日	
		1回投与量 (g)	1日投与量 (g)	1回投与量 (g)	1日投与量 (g)	1回投与量 (g)	1日投与量 (g)
1ヶ月	4	0.27	<b>0.80</b>	0.40	<b>1.20</b>	0.53	<b>1.60</b>
	5	0.33	<b>1.00</b>	0.50	<b>1.50</b>	0.67	<b>2.00</b>
3ヶ月	6	0.40	<b>1.20</b>	0.60	<b>1.80</b>	0.80	<b>2.40</b>
	7	0.47	<b>1.40</b>	0.70	<b>2.10</b>	0.93	<b>2.80</b>
6ヶ月	8	0.53	<b>1.60</b>	0.80	<b>2.40</b>	1.07	<b>3.20</b>
	9	0.60	<b>1.80</b>	0.90	<b>2.70</b>	1.20	<b>3.60</b>
1	10	0.67	<b>2.00</b>	1.00	<b>3.00</b>	1.33	<b>4.00</b>
	11	0.73	<b>2.20</b>	1.10	<b>3.30</b>	1.47	<b>4.40</b>
2	12	0.80	<b>2.40</b>	1.20	<b>3.60</b>	1.60	<b>4.80</b>
	13	0.87	<b>2.60</b>	1.30	<b>3.90</b>	1.73	<b>5.20</b>
3	14	0.93	<b>2.80</b>	1.40	<b>4.20</b>	1.87	<b>5.60</b>
	15	1.00	<b>3.00</b>	1.50	<b>4.50</b>	2.00	<b>6.00</b>
4	16	1.07	<b>3.20</b>	1.60	<b>4.80</b>	2.13	<b>6.40</b>
	17	1.13	<b>3.40</b>	1.70	<b>5.10</b>	2.27	<b>6.80</b>
5	18	1.20	<b>3.60</b>	1.80	<b>5.40</b>	2.40	<b>7.20</b>
	19	1.27	<b>3.80</b>	1.90	<b>5.70</b>	2.50	<b>7.50</b>
	20以上	2.50	<b>7.50</b>	2.50	<b>7.50</b>	2.50	<b>7.50</b>

※成人用製剤の用法用量

通常、成人及び体重20kg以上の小児に対しては、セフトロダンとして1日750mg(力価)[細粒7.5g相当量]を3回に分割して経口投与する。

重症の場合や分離菌の感受性が比較的低い症例に対しては、1日1,500mg(力価)[細粒15g相当量]を3回に分割して経口投与する。

<成分分量> 1g中:セフトロダン 100mg(力価)

<性状> わずかに芳香を有し、味は甘く、わずかに苦い、だいたい色の細粒剤(オレンジ風味)

<効能効果> <適応菌種>

本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、大腸菌、クレブシエラ属、プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌

<適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱

<用法用量> 通常、幼小児にはセフトロダンとして体重kgあたり1日20~40mg(力価)を3回に分割して経口投与する。

なお、年齢、体重、症状等に応じ適宜増減する。